

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

三田市長 田村 克也

市町村名 (市町村コード)	三田市 28219
地域名 (地域内農業集落名)	本庄 ( 本庄田中 )
協議の結果を取りまとめた年月日	令和8年2月10日 (第4回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域農業の現状及び課題

傾斜法面の草刈り  
獣害対策及び水利等の維持管理

## (2) 地域における農業の将来の在り方

今後も引き続き水稻栽培を中心とし、農作業の効率化を図るためスマート農業を進めていく。  
後継者が不在の農地については周辺の担い手へ農地集積を行っていく。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

## (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	24.4 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	23.0 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

## (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理機構を利用して段階的に集積・集約化を行う。
(3)基盤整備事業への取組方針
現在、圃場整備済みではあるが、機械の大型化や作業の効率化を踏まえて、今後さらなる大区画化を検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
他地区の農業者や新規就農者等の意見交換や情報交換を行うとともに、関係機関と連携して安心した経営基盤を確立する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
豊富な知識と経験を有している農業協同組合と連携し地域農業をさらに発展させる。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①鳥獣害防止対策については、地域住民で協力し合い行っていく。  
 ③ドローン、ラジコン草刈り機等のスマート農業機械を導入し作業負担の軽減と効率化を行う。  
 ⑦⑧ため池や灌漑用水ポンプ、付帯する用水路等は地域全体で保全管理を行っていく。またパイプライン化等と検討していく。